

図書館 季節の催し物



文芸講演会

「文学作品に見る本庄のすがた」

市立図書館（本館）では、秋の「読書週間」にあわせて、企画展や講演会を開催しています。11月9日（土）に開催した文芸講演会では、「文学作品に見る本庄のすがた」と題して、本田豊氏（元県史編纂委員、元都立大学講師）を招き、熱心な聴衆に満ちた会場で、様々な文学作品に登場している当時の本庄市の様子を紹介していただきました。



クリスマスおはなし会

12月14日（土）に開催した、冬の恒例イベントとなった「クリスマスおはなし会」では、62人の皆さんにご参加いただき、賑やかな催しとなりました。はにぼんが参加したハンドベルの演奏に始まり、今年は新たに人形劇を加え、絵本や紙芝居によるクリスマスのおはなし等、盛りだくさんの内容になりました。参加した子どもも、大人も楽しいひとときを一緒に過ごし、帰りには、手作りのプレゼントが手渡されました。



リサイクルフェア

児玉分館では、「読書週間」の催しとして、11月2日（土）に、図書館で利用しなくなった本や保存期間が過ぎた雑誌などをお譲りする「リサイクルフェア」を開催しました。開始時間前から行列ができるなど大盛況に終わり、今年もたくさんの皆さんに楽しんでいただきました。



トルコ共和国 ホストタウン交流事業

本市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたトルコ共和国を相手国とするホストタウンに登録されました。

ホストタウンとは、多くの選手・観客等が来訪することを契機に、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現、地域の活性化等を推進するとともに、交流事業を通じ、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る取組です。



図書館でトルコ共和国を紹介

図書館では、9月にトルコ共和国の紹介コーナーを設置しました。図書館に所蔵するトルコ共和国の文化や風土を紹介する図書も展示して、多くの利用者に足を止めて見ていただくことができました。



～「トルコに届け」～ ホストタウン相手国・地域にお手紙を送ろう

ホストタウン交流事業の一環として、深い交流を行った駐日トルコ共和国大使夫人、ブラインドサッカー選手のほか、トルコ本国の小学生に対しても市内小学校5校332人が心を込めて書いた手紙を送りました。



学校給食でトルコ料理を提供

市内小中学校では、トルコ共和国の食文化に触れるため12月にサバサンドなどのトルコ料理を提供しました。サバのマリネをパンに挟んで食べたりと、児童生徒たちは普段とは違った給食を楽しんでいました。